

第2期くまもと「夢への架け橋」教育プランを策定しました

～子どもたちの“夢を叶える教育”を推進します～

平成26年3月、熊本県では、本県教育の振興のための基本計画である「第2期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」を策定しました。平成26年度から平成30年度までを計画期間としています。

子どもたちがこれからの激しく変化する社会の中で生き抜く力を身に付けるよう、熊本の自然、伝統、文化を基盤に、家庭・地域・学校が連携・協力して、子どもたちの“夢を叶える教育”を推進します。



基本理念

郷土に誇りを持ち、夢の実現を目指す熊本の人づくり

目指す姿

- ① 家庭を中心として基本的な生活習慣や自立心を身に付けた、たくましく心豊かな子ども
- ② 何よりも命を大切にすることをもち、知・徳・体の調和がとれた子ども
- ③ 熊本の自然や伝統、文化を誇りに思い、国際的な視野を持って、未来を切り拓く人
- ④ 生涯を通じて学び、社会に主体的に参画し、夢の実現を目指す人

⇒ライフステージを通して、「生きる力」、「命を大切にすること」、「グローバル社会に対応する資質や能力」、「夢を持ち、自立し、困難な中にも活路を見いだそうと努める姿勢」をはぐくみます

子どもの育ちを支える土台

家庭

「家庭」は教育の原点であり、出発点です。家庭は、子どもたちが成長するうえで最も多くの時間を過ごす場所であり、愛情による絆で結ばれた家族とのふれあいを通して生活習慣など生きるために必要な多くのことを学んでいきます。

保護者が親として成長することも期待されています。

地域

「地域」においては、子どもたちがさまざまな体験や人とのふれあいを通して、ふるさとのよさを感じ、主体性や豊かな人間性、社会性を身に付けることが期待されます。

また、地域の方による学習活動や体験活動など、学校に対する協力や支援も求められています。

学校

「学校」は、確かな学力や豊かな心、健やかな体など「生きる力」を身に付ける場です。また、地域に開かれた学校づくりを進める必要があります。

教育の質は教職員の力量に負うところが大きく、「教える力」ばかりでなく子どもの意欲や能力を「引き出す力」が求められます。

今後5年間で重点的に取り組む事項～「夢を叶えるミッション」～

「夢」をはぐくむ 【幼児期～学校期】

家庭教育支援にしっかり取り組みます

【目標】「くまもと家庭教育支援条例」の認知率の向上

いじめのない学校をつくります

【目標】学校は楽しいと感じる児童生徒の割合の向上

「熊本的心」を活用して豊かな心をはぐくみます

【目標】「熊本的心」を活用した道德の時間を地域や保護者に公開した学校の割合の向上

障がいのある子どもの学びを支えます

【目標】発達障がいの生徒(高等学校)についての個別の教育支援計画作成率の向上

英語を話せる子どもを増やします

【目標】英語が「好き」「分かる」生徒の割合の向上

貧困の連鎖を教育で断ち切ります

【目標】生活保護世帯の高等学校進学率の向上



「夢」を広げる 【主に高等学校～】

海外にチャレンジする若者を増やします

【目標】海外高校への留学生数の増加

進学や就職の夢を叶えます

【目標】大学等進学率及び県立高等学校における大学等進学希望者の進学率の向上



「夢」を支える 【教育環境の整備】

スーパーティーチャーをつくります

【目標】スーパーティーチャー(指導教諭)の導入

地域に開かれた学校をつくります

【目標】コミュニティ・スクールの増加、学校を支援するボランティアの増加

学力向上につながる教育の情報化を推進します

【目標】ICTを活用して指導できる教員の割合の向上



お問い合わせ先 熊本県教育庁教育政策課 教育プラン推進班

TEL: 096-333-2673 FAX: 096-384-1509

※ 詳しくは、県教育委員会ホームページをご覧ください (<http://kyouiku.higo.ed.jp/>)